

編集後記

『大分県地方史』二〇一号をお届けいたします。新たなスタートとでもいうべき号数の本号ですが、編集子の責任で発行が遅れ、皆さまに多大なご迷惑をおかけいたしましたことをまずは深くお詫び申し上げます。

二〇一号ということで、本号には論説に加え第一五〇号から二〇〇号までの目録を掲載しております。

論説は、波津久文芳氏の「三重駅・高坂駅と両駅を結ぶ日向道」と岡部富久市氏による「八幡宇佐宮もう一つの謎」の二本を掲載致しました。波津久氏の論説は、さまざまな材料から古代日向道の復元を試みたもの、岡部氏の論説は『託宣集』などに見られる「伝承」に注目し大神氏の謎に迫ったもので、いずれも読み応えのある力作となっています。

なお、非常に残念なことです。波津久文芳氏は、本号の完成を待たずして逝去されました。発刊が遅れ、生前に本号をお届けすることが出来なかったことが本当に悔やまれてなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(菅野剛宏)

大分県地方史 第二〇一号

平成十九(二〇〇七)年十一月二十六日 印刷
平成十九(二〇〇七)年十一月三〇日 発行

編集者 菅野剛宏

発行者 豊田寛三

印刷者 廣永晴巳

印刷所 有限会社舞鶴孔版

〒八七〇〇〇二二

大分市大手町二丁目三一四

(☎〇九七―五三二―四二三)

発行所

〒八七〇一一二四

大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育福祉科学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・〇一五八〇―二一五二九四)

事務局 大分県立先哲史料館

〒八七〇一〇八四

大分市大字駄原五八七一

(☎〇九七―五四六―九三八〇)